

生きがい

第79号

発行 令和7年1月1日
 (公社)上越市シルバー人材センター
 本所 上越市西城町1-12-4
 TEL 025-522-2812
 頸北支所 上越市柿崎区柿崎6405
 TEL 025-536-6100

編集 広報対策部会
 印刷 (有)不二印刷所

迎春 2025



「会員向け冬囲い講習会」 於 高田城址公園

年頭にあたって



理事長 井部 博光



新年あけましておめでとうございます。
 会員の皆様には、お健やかな初春をお迎えのこととお喜び
 申し上げます。

今年度の事業実績は、十一月末の時点で令和五年度の契約
 金額を二千四百万円上回っています。これは、受託事業にお
 ける一般家庭や公共部門での機械除草作業や派遣事業の実績
 が大幅に増加したことによるものですが、これらは受注件数
 が減少していることからわかるように、受注量の増加とい
 うよりも作業単価等の上昇によるものであり、決して喜ばし
 いことではありません。将来的なシルバー事業を見据えれば、
 根幹的な事業である受託事業における新規ニーズの把握に努
 め、事業の拡大を図る必要があります。

また、会員数では、昨年度末一千人の大台を割り込む結果
 となりましたが、これは会員の平均年齢が年々上昇しており、
 高齢化による退会が大きく影響しているものと思われま
 す。一方では、地域社会における高齢化も同時に進行しており、
 高齢会員でも無理なく働ける就業の場や独自事業の取組を検
 討していきたいと考えております。

令和五年度は税制改正によるインボイス制度がスタートし、
 昨年十一月一日には国のフリーランス新法が施行される等、
 外部環境が大きく変化しておりますが、今後契約方法の見直
 し等、適切に対応していきたいと考えております。

また、諸物価の高騰や全国的な賃金水準の見直し等、シル
 バー事業を取り巻く社会情勢には大変厳しいものがありますが、
 会員、事務局一丸となって対処して参りたいと考えております。

最後に、会員とご家族の皆さんのご健康を祈念して新年の
 ご挨拶といたします。

新年のごあいさつ



上越市長
中川 幹太

明けましておめでとうござい
ます。

清々しい新春を迎え、この新
しい年が上越市シルバー人材セ
ンターの会員の皆様、職員の皆
様にとりまして、喜びと希望に
あふれる幸多き年となりますよ
う心からお祈り申し上げます。

貴センターにおかれましては、
会員の皆様のご尽力、ご努力の
もと、幅広い分野でご活躍いた
だき、高齢者福祉の増進、地域
社会の活性化に大きな役割を果
たしていただいていることに深
く敬意を表するとともに、心か
ら感謝申し上げます。

近年、生産年齢人口の減少に
よる地域や企業の担い手不足の
声が多く寄せられる中、会員の
皆様がこれまで培われた豊かな
経験や知識、技能を発揮し、ご
自分にあつた就労を継続される
ことは、市民の暮らしや企業活
動を支える大きな力となってい
るとともに、会員の皆様の心身
の健康維持にも繋がるものであ
ります。

今後、社会基盤の維持と健康
寿命の延伸を図るため、貴セン
ターの役割は、ますます大きく
なっていくものと考えていると
ころであります。市といたしま
しては、貴センターが、時代と
ともに変化する市民ニーズを捉
えながら、安定した事業運営が
できるよう支援してまいりたい
と考えております。

本年は、上越市が合併してか
ら二十年の節目となるほか、皆
様に親しまれている高田城址公
園観桜会と謙信公祭がいずれも
第百回を迎えるなど、様々な節
目が重なり合う輝かしい記念の年
となることから、本年を「アニ
バーサリーイヤー」と称して、ふ
るさとへの誇りと愛着を育むと
もに、当市の歴史や文化の魅力を
市内外に発信してまいります。

引き続き、市民の皆様の安心
安全な暮らしを守ることを第一
に、「暮らしやすく、希望あふれ
るまち」の実現に向けて力を尽
くしてまいりますので、ご支援
を賜りますようお願い申し上げ
ます。

結びに、上越市シルバー人材
センターの益々のご発展と、会
員の皆様のご健勝、ご多幸を心
から祈念申し上げます、新年のご
挨拶いたします。

新年の抱負

年男・年女の皆さん



石田 栄三
(新光町二)

光陰矢の如し、早いもので会員
になってから十一年有余が過ぎ、
シルバー人材センターの皆様から
種々のお仕事を幹旋して頂きあり
がとうございます。

私の仕事は駐車場の整理です。お
客様から「ご苦労様」と声をかけて
もらうと心に響きます。今年目標
は健康第一で従来通りウォーキン
グと、認知症予防のため囲碁、将棋
尺八を楽しみながら会員の絆を深
め、今後も仕事に邁進する所存です。



大坪 貢
(大豆)

令和四年に入会し、屋外作業の
植木の剪定、冬囲い、機械除草の
業務に携わっています。各種講習
に参加し、スキルアップに努めな
がら、危険見積と対策を講じ、安
全を第一に作業を行っています。

已年生まれば努力を惜しまず、
美的センスに優れていると言われ
ます。趣味と同様に良い作品を作
り上げ、頼りにされる存在になれ
るよう、これらを念頭に今年も会
員として携わっていききたいと思っ
ています。



内藤 弘子
(御殿山町)

私は退職後、これまで出来なかつ
た事をしようと思いました。しかし、
いざ仕事を離れると人との繋がりが
無くなり寂しい思いをしました。

そこでシルバーに入会し、今は貸
館業務の仕事させて頂いています
が、仕事仲間や講座の参加者の皆さ
んと接し、楽しく過ごしています。

私の老後の人生をこんなに楽し
いものにしてくれたシルバーに感謝
です。これからも元気でシルバー
を続けていきたいと思っています。



東 克好
(国府二)

六十七歳で退職後シルバーに入
会し、二件の仕事を紹介されまし
たが、私の希望に沿わずご辞退さ
せていただきました。昨年三月に
高田城址公園の桜守の手子で週に
一、二日の勤労、土日は休みと言
う仕事を紹介して頂き、登山、猟
の趣味と両立できるため応諾しま
した。外の軽作業で暑さ寒さはあ
りませんが、桜の保護という文献が
少ない仕事にやりがいと面白味を
感じています。事故を起こさない
様、頑張りたいと思っております。

2024 主な実施事業

班長教育安全講習会(新規) (10月9日)

冬囲い作業班長と班員を対象に開催し、54名の会員が参加しました。EIC保険エージェンシーの小林修氏を講師に、班長に求められる心構えや過去の事故事例、事前に現場を確認し、危険を予知した上で適切な安全対策を講じることの重要性、また会員同士のパワハラ、個人情報の取扱い、苦情対応まで、映像を交えながら多岐にわたり指導を受けました。



新人会員マナー講習会 (6月25日・26日)

令和5年9月から令和6年3月に入会した85名の会員を対象に開催しました。EIC保険エージェンシーの小林修氏を講師に迎え、シルバーを取り巻く環境の変化やハラスメント、情報の守秘義務、アンガーマネジメント等について、就業中に起こりやすい事例を基に心構えや取るべき行動をご指導頂きました。



シルバー事業の周知・PR活動

「全国シルバー人材センター事業普及啓発促進月間(10月)」に合わせて実施

職員のほか女性部会や事業開拓部会の会員、就業開拓員が参加、市内の商業施設や朝市会場において、買い物に来られる市民にシルバー人材センターのチラシを配布し、シルバー事業の周知・PRに努めるとともに、会員の増強と受注の獲得を目指す街頭活動を実施しました。

イオン上越SC催事場



10月25日(金)
*チラシ・啓発粗品303個配布
*相談コーナー相談者7名

ウオロク上越店



10月25日(金)
*チラシ・啓発粗品417個配布

高田朝市



9月、10月の市開催日
*朝市会場(高田大町通り)で実施

清掃ボランティア活動 (3会場/50名参加)

(10月4日)

高田地区会場参加の皆さん



*公園内のポイ捨てごみ回収
(24名参加)

柿崎区会場参加の皆さん



*総合事務所側溝清掃
(12名参加)

板倉区会場参加の皆さん



*沿道沿いポイ捨てごみ回収
(14名参加)

講習会に参加しました

庭木冬囲い講習会に参加して



寺田 秀幸
(柿崎区)

昨年、「男結びが出来るなら手伝ってくれ」と誘われてでかけましたが、皆さんが巧みに冬囲い作業を続ける中、一つひとつ指示されない仕事ができない自分、甲斐なさを感じていたところ、この講習会を知り申し込みました。種々の結びや割の入れ方、櫓の組み方等々を実践を交えて学ぶうち、これまでうまく出来なかった作業の手際の悪さが分かってきました。今日も冬囲いに行ってきました。まだまだ未熟者の域を出ませんが、先輩諸兄の指導をいただきながら「いい出来栄え」を目指して、努力してまいります。



スマホ初心者講習会に参加して



佐藤 賢一
(春日山町二)

七月末の暑い日の午後、少し変わった名の先生からスマホ操作の手ほどきを受けました。私の本音とすればパソコン、スマホとは係わりあいたくはない。持たない生活が出来たらと思うが、そうともならないのが現実だ。カメラをかざしてカシャ、でホームページに、また音声入力横ボタンで外国語が日本語に翻訳、正に目から鱗の機能でした。

私は、派遣の仕事以外に時々他作業もするが、前年度までは作業依頼は全て書類だったのに、それが四月からはスマホだ。まさに激変である。片時もスマホを離さない人が多い今の時代、私はその中には入れないが、後からユックリ付いていき



第25回
就業先拜見

こんな仕事をしています

「作品展示サポート業務」に従事



山本 恒志
(東城町三)

二年前より福祉交流プラザ展示コーナーにて、趣味の講座や教室、同好会等の作品展示と撤収のサポートを、月毎に二名にて担当しています。作業は短時間ですが日時に間違いが無いように事前に確認して対応しています。

展示では皆様の作品を拜見して、才能、努力、根気を感じます。各団体により展示の内容が違うので、その都度どのように展示をするのか確認して作業しています。また、展示場所が玄關脇で人の通行も無い、不注意等で作品に支障が無いように気を付けています。今後もご利用者の方に喜んでもらえるよう、日にちや時間の聞き違いに留意しながら、引き続き仕事をやりたいと思います。



「朝市入込調査業務」に従事



植木 幸雄
(東城町二)

昨年より「朝市入込調査」の仕事をしています。仕事の内容は、朝市に訪れるお客様の数を男女別、年齢別(六〇歳未満と以上)に二人で分担してカウントする仕事です。上越の朝市には「二・七の市」、「四・九の市」、「三・八の市」があり、私は「二・七の市」を担当しています。

調査は五月から三月までの間に二と七の付く日に合計十二回実施します。夏の猛暑や雪降る中での作業は大変なこともあります。大町通りに並ぶ露店には旬の新鮮な野菜や果物、花などが並んでおり、挨拶して下さるお店の方もおられ、季節を感じながら楽しく調査しています。



皆さんも是非、朝市に足を運んでみて下さい。

2024 専門部会活動報告

技能推進部会報告

剪定技術の向上を図るため、習得の難しい松の剪定の講習会をマンツーマン方式で実施したほか、シルバー事業のPRと新規会員の獲得を目的に、一般市民を対象とした初心者向け冬囲い講習会を開催しました。また、新たな取組として、上越地域独特の冬囲い方法や縄の縛り方をまとめて整理したオリジナルの資料を作成し、現場で即戦力となる会員を養成する冬囲い講習会を実施しました。(部会長 橋立 與栄)

事業開拓部会報告

新規会員の獲得を本年度の重点目標として活動してきました。九月、十月、高田の朝市でのパンフレット配布。昨年は四・九の朝市だけでしたが、今年度は二・七の朝市でも実施しました。十月にはイオン上越店で女性部会と連携して来店客へパンフレット配布。同日上越地区へ初進出したスーパードウオロクにおいて来店客にパンフレットを配布。また女性限定入会説明会においてPR活動を行いました。本年度は直江津地区を新規会員獲得の重点地区と定め、パンフレット四百五十部を全町内会へ回覧しました。引き続き昨年同様「一会員一名紹介運動」を展開しておりますので、会員の皆様のご協力をお願いします。(部会長 矢嶋 威)

広報対策部会報告

コロナの五類感染症移行から二年。「生きがい」の紙面もコロナ禍前の内容に戻り、年二回発行することが出来ました。表紙等の写真については、写真担当の部会員が退会したため全会員に募集しましたが応募が少なく、選定に苦慮しております。皆様のご協力をお願いします。(部会長 池田 勝)

女性部会報告

女性会員の拡大を目的に十月二十五日(金)、イオン上越店とウオロク上越店で女性限定入会説明会のチラシ配布を行いました。その結果、十月二十九日(火)の説明会当日は十名が出席、このうち四名の入会がありました。この説明会での女性入会者は令和四年度が25.8%、五年度が27.7%と会員獲得のお手伝いが出来たかな、と思っております。女性も活躍していることを知ってもらいたいと思います。(部会長 深川富士子)



第1回企画
ワクワク歌声講座
7月4日(木)
参加者26名



女性会員拡大企画
女性限定入会説明会
10月29日(火)
参加者10名



第2回企画
ハーバリウム講習会
12月13日(金)
参加者17名



女性部会この一年を振り返る

地域別会員懇談会の開催会場について

既に事務局だより第86号でお知らせしたところですが、毎年2月に開催している地域別会員懇談会については、これまで8つの会場で開催していましたが、近年会場ごとの参加者数が減少していることから、地区区分を見直し5つの会場に集約して開催することにしました。会場を確認の上、是非ご出席下さい。(いずれの会場に出席いただいても結構です。)

シルバー会員互助会通信

新年にあたり



会員互助会会長
杉田 久

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、ご家族お揃いでお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は当互助会の会務運営に対して格別のご支援・ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

さて昨年は会員の皆様からのアンケート結果を参考に日帰り親睦旅行等の事業を行いました。

今年も皆様のご意見、ご要望を伺いながら運営してまいりますのでご支援・ご指導をお願い申し上げます。

今年「巳」年。「成長」や「変革」の年と言われています。会員並びにご家族の皆様にとって健康で幸多き最良の年となりますよう、ご祈念申し上げます。

新たな同好会の設立について

互助会では、九月に新たなサークル設立の説明会を開催し、手順等について説明しました。

この結果、新たに「健康マージャンサークル同好会」が会員九名の参加で設立されました。互助会では提出された書類を審査、認定の上、活動助成金を交付しました。

忘年会を開催しました

昨年十二月四日(水)、年末恒例の忘年会を納涼会に引き続き西郷町のデュオセレソで開催しました。

当日は、会員等総勢五十三名の参加をいただき、カラオケや福引等の催しで大いに盛り上がり、会員同士の交流を深めました。

これにより、計画通り今年度の全ての行事を実施することが出来ました。

大変ありがとうございました。

(幹事一同)



☆互助会慶弔及び見舞金支給☆

生きがい第七十八号掲載以降に亡くなられた三名の会員の皆さんに弔慰金五千円をお届けしました。

○森田 孜様 (柿崎区)

○笹川 謙蔵様 (吉川区)

○梅沢 利男様 (春日山町二)

*謹んでお悔やみ申し上げます

安全・適正就業対策委員会における検討事項について (事務局報告)

令和六年十一月六日(水)、今年度第二回安全・適正就業対策委員会が開催されました。

今回、後を絶たない刈払機の飛び石事故やパイプ破損事故対策として、現在五千円となっている免責金額を上げること、抑止効果を高めることができな

いか検討されました。

実際に作業をしている機械除草班長の意見や他市のシルバーの状況を踏まえ、各委員からは金額云々より、どのようにして事故を減らすかという事が重要であり、そのための新たな対策として、指差呼称の励行、安全講習受講の義務付け、作業会員全員から安全チェックシートを提出してもら

うなどの意見が出されました。

今後引き続き検討し、来年度の機械除草班長会議で改めて提案させていただきます。



季節のスケッチ



「ヤブコウジ」

撮影：吉田 明 (会員)

*『万葉集』にも山橘(ヤマタチバナ)の名で詠まれたヤブコウジは、古くから日本人に愛されてきた植物。サクランボ科の常緑木本植物。

あとがき

明けましておめでとうございます。 「生きがい」の編集のお手伝いをさせて頂き、会員の皆様から届いた原稿や写真がとても丁寧に編集されていることに改めて驚いています。

また、編集作業を通じて会員の方々が生き生きとお仕事をされている姿に感心し、今の自分を反省しております。

今年も皆様にとって良き年でありませうように祈っております。

(広報対策委員 山田三代子)

| 会 員 数 | |
|----------------|--------|
| (2024.11.30現在) | |
| 男 | 754名 |
| 女 | 300名 |
| 合計 | 1,054名 |
| <hr/> | |
| 本 所 | 822名 |
| 支 所 | 232名 |